

## 平成 28 年度 伊勢市環境審議会 記録概要

1. 日 時 平成 28 年 11 月 17 日 (木) 19 : 00 ~ 21 : 10

2. 場 所 伊勢市役所本館 4 F 4 - 5 会議室

### 3. 出席者

中村 貴司 (公共的団体 : 伊勢商工会議所)  
山本 誠 (公共的団体 : 伊勢市総連合自治会)  
高橋 克彦 (公共的団体 : 伊勢市環境会議)  
竜田 和代 (公共的団体 : 伊勢市女性団体連絡協議会)  
山本 実 (公共的団体 : 小俣町商工会)  
高橋 虎彦 (公共的団体 : いせしま森林組合)  
朴 恵淑 (学識者 : 三重大学)  
中松 豊 (学識者 : 皇學館大学)  
岡本 忠佳 (学識者)  
笹岡 哲也 (神宮司廳)  
藤木 保美 (三重県南勢志摩地域活性化局)  
赤坂 知之 (公募)  
大中澄美子 (公募)

#### 【欠席】

川端 利生 (公共的団体 : 伊勢農業協同組合)  
杉田 英男 (公共的団体 : 伊勢湾漁業協同組合)  
谷口 智雅 (学識者 : 三重大学)  
石原 正博 (公募)

### 4. 概 要

#### (1) 委員紹介

○環境課長 出口

委員の変更についてのご連絡

- ・伊勢市総連合自治会  
森本 幸生 様 から 山本 誠 様 へ変更
- ・三重県南勢志摩地域活性化局  
打田 雅敏 様 から 藤木 保美 様 へ変更

## (2) あいさつ

### ○環境生活部長 坂本

- ・第2期環境基本計画の審議をお願いしたい。
- ・伊勢志摩サミットも無事終了した。今後も全国菓子博覧会、国体、高校総体等の行事があり、訪れる方に伊勢の環境をPRしたい。
- ・忌憚のないご意見を頂戴したい。

## (3) 第2期環境基本計画の進捗状況について

### ①平成28年度伊勢市環境報告書

#### ○事務局による説明

- ・資料「平成28年度伊勢市環境報告書」

#### ○質問・意見等

##### ■平成28年度伊勢市環境報告書について

- ・この報告書は、どこに出すための報告書か。庁内や審議会で使うのか、HPの掲載や市民への配布など、どういう位置づけで作成しているのか。  
⇒HPへの掲載はしている。

- ・すべて横並びで魅力がないので、写真があったり、工夫をしてほしい。HPは子どもから大人まで見るので伊勢らしいいいものをHPに掲載したほうがいい。  
⇒写真を入れるなどアレンジし、HPに掲載させていただく。

##### ■平成28年度伊勢市環境報告書における記載内容について

- ・ひとつひとつが独立した事業でなく、横に広がっている。EVもコムスについては、レジ袋の収益金で買っているが、そのようなつながりがあることも考えていただき見直してほしい。  
⇒コムスの写真を載せ、レジ袋有料化検討会から寄贈し利用していると記載するなどの工夫をさせていただく。

- ・6ページ、環境保全型護岸ブロックについて、イメージがつきにくいけどどのようなものか。また、どこについているのか。

- ・基盤はきちんとおさえているが、間から草が生えてくるので全体は、草地のように見える。  
⇒ブロックに穴があり、そこから草が生えるので植生ができるような護岸ブロックとなる。

具体的な場所は手元に資料がないが、台風等の被害に伴う改修等の際に使用している。

- ・8ページ、間伐で横輪環境保全林とありますが、どこにあるのか。

⇒ 風鈴という施設が横輪にあり、そこからさらに奥の方にある。また、昔伊勢市は、横輪に一般廃棄物最終処分場の建設を計画して撤回したことがあるが、その予定地が環境保全林である。

- 10 ページ、公園の整備について、ユニバーサルデザインとはどのようなものか。
- ユニバーサルデザインは、体の不自由な人、子ども、高齢者など誰もが使いやすいようなデザインを心がけようというものになる。
- 高速道路のサービスエリアのトイレをイメージしていただくとわかりやすいと思う。  
⇒ 障がい者差別解消法ができて、公共施設についても努力義務でなく、これからは、障がい者が使いやすい施設にしていくことが求められている。今後ユニバーサルデザインやバリアフリー化は進んでいくと思う。
- 11 ページ、三重県が開催する「低炭素なまちづくりネットワーク会議」はどのような会議か。  
⇒ 三重県が中心となり、県内の各市町が会員となっている会議。この会議を通じて、伊勢の取組を県内の市町へ情報発信している。
- 14 ページ、キッズ ISO14000 プログラムとはどこの学校でどんなことをしたか。  
⇒ 有絹小学校で実施した。内容は、小学校の児童に家庭でキッズ ISO14000 のプログラムを実践いただくものとなる。具体的には、1 週間は普段どおり生活し、ごみの量や電気使用量等を計測し、なにが多かった、どうすれば削減できるかを考えて、児童が家族のリーダーとなり実行し、1 週間ごみの量や電気使用量を計測し、削減した結果について診断・評価をいただく取組になる。
- 目標値について、年度ごとの増減を一目でわかるように工夫いただきたいと思う。また、太陽光は、補助件数の記載があるが補助件数の記載がない項目もあつたりする。環境課の事業は括弧書きがあつたり、なにか基準はあるのか。後ろの方にいくほどそういう記載が減っているように感じる。同じような記載で統一いただいたほうがいいのかと思う。  
⇒ 環境課にて他課に協力いただき、報告書を作成している。所属にて記載は変わってくる。統一した記載で報告させていただいたほうが良いと思うが、そこまでの配慮はできていなかったと思う。
- 16 ページの商工会議所の先進地視察はどこに行ったのか。
- 井村屋と松阪のバイオマス施設、また豊田エコフルタウンに行った。
- 16 ページの生物多様性に関して、環境省環境調査研修所はどのようなものか。  
⇒ 環境省の実施する行政向けのプログラムで所沢にて実施しているもの。自然環境の法令等についての研修で5日間のものになる。昨年1名参加した。全国から参加する研修のため情報交換もできる。

## ②第2期伊勢市環境基本計画 施策進捗管理

### ○事務局による説明

- ・資料「第2期伊勢市環境基本計画重点事業 施策進捗確認シート」  
「第2期伊勢市環境基本計画 施策進捗確認シート」

### ○質問・意見等

#### ■太陽光発電について

- ・太陽光の設置件数について、設置件数がどのくらい低炭素、CO<sub>2</sub>の削減につながったかわかるわかりやすい身近な数字にて表現ができるといいかなと思う。
- ・国の動きも少し紹介させていただく。今マラケシュでCOPもしており、約束草案で日本も国としてなんとかしなければならぬ。2030年までに温室効果ガスの削減を26%としている。今後、義務も増えてくると思う。エネルギー起源については、県や市も考えなければならぬ。市の指標がアバウトなものでもモデルになる。伊勢市はいい動きをしているのでできるだけ数値にできるものは検討いただいたほうがいい。
  - ⇒太陽光発電については発電量の容量等も違い、設置件数からどれだけ電力を削減できたかという計測は難しい。CO<sub>2</sub>の削減量についてわかりやすい表現は検討させていただく。
- ・太陽光について、目標値の件数は、住宅の件数か設置している件数かどちらか。
  - ⇒目標値については、中部電力さんが、太陽光を設置した方と契約を結んだ件数になる。
- ・当初は太陽光発電は、余剰電力買取ということで素直な気持ちで取り組んでいたと思う。20年の全量買取になり高く買った分を一般の家庭に負荷することになっている。オール電化で電気が安かったがガスと変わらなくなってきている。環境省の方の講演で、伊勢志摩国立公園がナショナルパーク化にもなると聞いたが、現在山を崩して利益を追求して太陽光をつけている事例があり、森林が破壊されている。最近田んぼの上にも太陽光が乗っており、地球温暖化防止のために太陽光をどんどんつけようといっていた時代とは変わっているのではないかなと思う。伊勢志摩国立公園の自然環境は守らなければならない。でも伊勢では太陽光をどんどんつけてくださいとなっており、最近疑問に思っている。
- ・作り方も問題になっている。土の上に作っており、草が除去できなく、生活環境を破壊し問題になっている。
- ・これからは、景観法が上に行くと思っている。
  - ⇒当初太陽光は、低周波などなく問題がないものと思っていたが、最近森林破壊なども言われており、環境部門としては注視しないといけないと思っている、自然破壊や農地の減少については、行政が連携して考えていかなければいけないと思う。
- ・太陽光の買取単価はどうなっているのか。
  - ⇒買取単価は下がってきている。

全量買取や余剰買取等の買取方法によっても料金は変わる。買取価格が高いときに認定をとっており、パネルが安くなってから設置する業者も多くあり、問題になっている。悪質な業者に対して認定を取り消す等の対策も行われている。

- 伊勢志摩国立公園の山を削って太陽光がつくようなことはあるのか。
- 国立公園でボランティアをしている。志摩の保護官事務所が許認可を出しており、けっこうきびしいと思う。  
⇒ 国立公園内は、ハードルが高いと思う。以前に新エネビジョンを作ったが、風力発電についても規制があるため難しいとの方向性をだしている。
- 最近では太陽光が田んぼの上にあるのも見かける。
- 田んぼをやらなくなりその上につけている。
- 田んぼのままできていると思う。基準があり、田んぼのままでも設置できたことかと思ふ。法律の話ですが、問題はあつと思ふ。
- 多気町ですが、宮川の近くで植樹をしているが太陽光が設置され景観が損なわれている。周りは茶畑だが台無しになっている。
- 国立公園はわからないが、太陽光の設置に特に規制はない、普通のところならどこでもつけられる。
- 住民が反対しなければそうである。
- 草が生えて虫がわくということで住民が困ることもある。簡単に設置ができ 1 週間あればできるため気がついたらできている場合もある。
- 太陽光発電は企業用とか家庭用とかそういうわけ方はないのか。大きくても小さくても 1 件なのか。伊勢市の世帯の何パーセントになるのか。  
⇒ 大きくても小さくても 1 件になる。伊勢市は、約 53,000 世帯あり、太陽光の設置は 3580 件あるがメガソーラーは少ないので約 3,500 件を住宅用と考えると 7 パーセントと推計はできる。
- アパートやマンションに住んでいる人も世帯数に入るので設置できる建屋で考えると分母はさらに下がると思ふ。
- 3.11 があり、温室効果ガスの 30 パーセント削減を掲げている。大きいものや小さいものもあるが、計算や把握にはとてつもない手間がかかるため中部電力の契約件数としている。  
⇒ 地球温暖化防止実行計画を策定したときは、東北の震災があり、エネルギー需給の見直しがあり、国も率先してエネルギーの見直しをしていた。国や県も太陽光の補助金を出していたが、現在補助金もなくなり、トーンダウンしている。当時は、国や県もやる気があり、伊勢市もそれにのつた部分もある。
- 太陽光の補助金を出しているので太陽光をどこに設置しているかは把握しているか。県のアセスをしているが、県の会議はほとんどソーラーパネルの件である。メガ級のも

のについてアセスでとりあげているが、伊勢市はほとんどないが今年のものすごく件数が多く土日にも県で会議している。かつては、海沿いに建てていてそんなに問題はなかったが、今は山をきりくずしている。反対するがやめさせる権限がなく結局通ってしまう。大きな事業ならアセスでとりあがるが、田んぼや空き地に設置するのはまったく関係ない。既存の屋根や駐車場、ゴルフ場の跡地などの設置がいいと思う。伊勢市もなるべく森林を破壊しない形での設置を基本とし、どこに設置しているかの把握はしていただいたほうがいいと思う。また、耐用年数も20年で、事業にならなくて放置するなどの問題も出てくると思う。その時のためにも把握しておくのは大事だと思う。

⇒ 補助金は基本的に家屋の屋根に対してのもので、補助金を出している家屋については、把握はできる。

メガソーラーの開所に併せて竣工式があると案内があり、それでわかることもある。大きな規模になっても建築物だと開発に該当するが、工作物なので該当もしてこない。土地と資金さえあればだれでもできるものとなっている。

#### ■第2期伊勢市環境基本計画施策進捗確認シートについて

- ・ 基本計画の進捗確認シートですが、25年から始まり、31年で最終ですが、単年でどのような値になるのか、累積でどのくらいか記入いただき目標値にも反映していただいたほうがいいと思う。

⇒ 見易さという点でグラフを使うなど検討したい。

#### ■レジ袋の有料化について

- ・ レジ袋有料化について、新しいスーパー等には話しはしているか。
- ・ 食品を扱うところはレジ袋をくれない。そうでないところはレジ袋をくれる。
- ・ ドラッグストアも入ったり、入らなかったり、全部入っていただくのはなかなか難しい。大手のスーパーに協力していただいている。

⇒ コンビニさんとかいろいろなところにお声がけはしますが、バックを持っていくことは万引きが問題となることもある。

#### ■その他

- ・ これからのことで考えていきたいことがある。事務局の人も手間をかけずにやるいい方法がある。このシートですがISO14001の名残で伊勢市も返上し自主的にしている。PDCAをまわすにはこういうシートが必要である。環境に関わる場所は一生懸命やっていくが、環境に関連するが他の部署で管轄する部分については、同じように出すのは厳しい。データ収集に手間暇かけるのはセーブし、余ったところを強いところのアピールに使ってほしい。新聞でもなんでも使いやっているぞをアピールし、ブランド力を高める。また、見直しするときに過去を振り返るいいデータをとる。プラスになるようなことはしっかりやってほしい。そうじゃないならあまり手間をかけないでいいと思う。環境報告書はいいものなのでもう少し工夫して欲しい。環境省の環境大臣などから賞があり、このレベルならもらえると思う。中身はすばらしい、けどおもしろくない。ぜひトライしていただきたい。

⇒ 今日はいろいろご意見もいただきましたので検討し、また、環境省の賞についても検討してみたいと思う。

- ・ 下水道の関係で国土交通大臣賞をいただいた。上下水道部が応募し、私も賞状をとりに行きました。そのとき感じたのは、賞をもらったのは全国で10件だけ、伊勢市はそういう場を利用し、市民や市外にアピールをしていくいいチャンスだと上下水道部へは話している。そういう時に看板があるとアピールしやすいと思う。
- ・ 伊勢市は広報が上手ではない。全国にアピールするところはいっぱいあるが、アピールが下手である。

#### (4) その他

##### ○事務局より

- ・ 審議会について今年度は今回で終了のため任期も終了となる旨の案内

##### ○朴会長挨拶

- ・ 10年間会長として尽力いただいた朴会長より退任の挨拶